

厚生労働科学研究費補助金（地球規模保健課題推進研究事業）

分担研究報告書

**東アジア、オセアニアにおける生活習慣病対策推進のための学際的研究
—パラオ疫学調査・予備調査—**

研究分担者 八谷 寛 藤田保健衛生大学医学部教授
名古屋大学大学院医学系研究科客員教授

研究要旨

パラオにおいて、生活習慣病に関して実施されている WHO STEPS SURVEY、米国疾病予防管理センターが実施する Young risk behavior survey、Young Tobacco survey、パラオ保健省が実施する School Health Screening 等の既存調査の方法、結果の概要について調査した。その結果をもとに、来年度以降実施する調査の対象は、既存調査とオーバーラップしない 18 - 24 歳とすること、サンプリングは高校 3 年、コミュニティカレッジ在學生、パラオ国内の代表的な就労先の全数調査と、一部地域における簡易国勢調査の結果に基づく無作為抽出によることを決定した。

A. 研究目的

パラオで生活習慣病に関して実施されている既存調査の方法や結果の概要を明らかにし、それらを参考にしつつ来年度以降実施する調査の具体的な方法を決定すること、ならびにパラオ人の食生活の実態、パラオの伝統的な食文化について調査すること。

B. 研究方法

平成 24 年 11 月にパラオを訪問し、以下の日程で調査を実施した。

- 14 日：パラオ保健省、パラオ国立病院訪問
- 15 日：ペリリュー島診療所訪問
- 16 日：パラオコミュニティカレッジ訪問
- 17 日：パラオ伝統料理調査
- 19 日：パラオ保健省で聞き取り調査

(倫理面への配慮)

今年度調査は、来年度以降実施する個人を対象とした調査の準備的調査のため、倫理的配慮は必要ないと判断した。来年度調査に関しては、対象者のプライバシーに十分配慮して研究を遂行するとともに、事前に所属機関、パラオ保健省の倫理審査委員会で手続きに問題がないか審査を受ける。

C. 研究結果

【パラオにおける既存調査について】

WHO STEPS SURVEY

パラオ保健省が世界保健機構 (WHO) の援助、監督下で実施する STEPS SURVEY (<http://www.who.int/chp/steps/manual/en/index.html>) は 60% が終了している。この調査は年齢が 25 - 64 歳の地域住民の無作為抽出による生活習慣病危険因子の調査で、熟練した調査員が抽出された世帯を訪れ、質問紙調査 (面接) ならびに身体・血圧検査や血液検査を実施する。本調査の遂行に WHO は 9 万ドルを支出している。血糖、脂質検査には携帯型簡易検査機器を用いており、適合するキットは Roche, Accutrend Plus, Code 659 (triglyceride), Code 010 (total cholesterol); Accu-CHEK Perfoma, Code 236 (Glucose) であ

った。

US CDC YRBS

米国疾病予防管理センター (CDC) が実施する Young risk behavior survey、Young Tobacco survey は高校生のアルコール、タバコ、違法薬物、性行為、身体活動、食生活等に関する調査である。

<http://www.cdc.gov/healthyyouth/states/territories/palau.htm>

School Health Screening

パラオ保健省が平成 18 年より毎年実施する小学児童 (1、3、5 年)・中高生徒 (中 1、3、高 2) の健康状態に関する調査である。

【来年度調査について】

対象者およびサンプリング

既存調査が対象年齢としていない 18 - 24 歳を対象とする。この年齢層は高校 3 年、コミュニティカレッジ在学、就労中のいずれかである確率が高く、またパラオ国内の就労先は限定されているため、全数調査を基本とする。ただし、一部地域において上記のいずれにも属さず日中も在宅している若者も認められることから、該当地域では簡易国勢調査の結果に基づく無作為抽出による調査を併用する。

1. 全数調査対象

- ・パラオコミュニティカレッジ学生
- ・高校 3 年生 (公立と私立、後者は 5 校)
- ・主要な雇用主 (WCTC, Sulangel, Palau Pacific Resort Hotel: 前二者はスーパーマーケットを主体とする多事業展開企業)

2. サンプリング調査

コロール州の 2 つの地域 (Meyuns 地区と Ngerbeched 地区) については、就職せずに家にいる者も多いので、最新の国勢調査結果を利用して対象世帯を抽出する。

調査を実施する現地スタッフ

パラオコミュニティカレッジ、高校、雇用主へはパラオ保健省から依頼する。現地調査を実施する者は、WHO STEPS で雇用されていたスタッフを継続して雇用する。ただし、再訓練を実施する。

(パラオの伝統的な食事について)

パラオの伝統的な食事はタピオカ、ココナツ、タロ芋、地魚を使ったスローフードで、調理には2から3人で半日かかる。現代でも調理され食されているが、都市部では高級料理となっており、ホテルのレストランでも食べることができる。



(パラオ人の現代の食生活について)

コミュニティカレッジ食堂や、ガソリンスタンド(コンビニ)で販売されている食品は、油を多く使ったファーストフードが主体で、糖分も多い。ダイエット飲料はほとんどなく、加糖飲料が中心であった。



D. 健康危険情報

研究代表者による総括研究報告書参照のこと

E. 研究発表

特記すべきことなし

F. 知的財産権の出願・登録状況

特記すべきものなし